



胸をはって

神奈川県公立小学校長会会長賞

横浜市立岸谷小学校 六年 高野 彩香

みなさんは今の日本が「安全・安心」だと思いますか。私は、今の日本が安全・安心な社会になっているとは思いません。それは、「〇〇くんが誘拐されました。」や「二年前に行方わからなくなった〇〇ちゃん」が二年たった今でも行方が分かっていません。」といったニュースが毎日のようにテレビで流れているからです。私と同じくらい歳の子が誘拐されるニュースなどを目にするると他人事とは思えません。もしかすると自分も同じような目にあってしまうのではないかと考えてしまいます。このような状況で今の日本は安全・安心といつてよいのでしょうか。

では、誰もが安全で安心できる町にしていくためには、どのようなことをしていけばいいのでしょうか。私が出した答えは、地域の方の協力を得ることです。もし、自の方に顔を覚えていただく方法の一つとして毎朝きちんと自分から挨拶をすることが重要であると考えました。その他にも、地域の方が開催している行事には、積極的に参加したりすることで、地域の方々の交流を広げることができそうです。

私たちがばかりが地域の方にお世話になるのではなく、私たちも地域の方の力になれることもあると思います。重い荷物を持っているときには一緒に持ったり、困っている様子を見かけたときには、「大丈夫ですか。」と声をかけたりすることなどができると思います。

同じ地域に住んでいる人同士が互いに支え合っていくことで、安全・安心な町そして国になっていくと感じます。そのためには、互いに歩み寄り、日頃から交流を深めていくことが重要です。地域みんなの目で自分たちの安全を守っていき、みんなが安心できる町にできるよう私も多くの方と関わっていきたいです。いつか「日本は安全・安心な国である。」と胸を張って言える日がくることを願います。

